

実践研究会を開催!

平成27年2月21日(土)第6回目の実践研究会を行いました。今年度も、北方西小学校ひまわり教室をお借りして行いました。

今回のテーマは「**今こそ道德教育に輝きを!**」です。発表者は、本巣市を代表して本巣小学校・清水則文教諭、瑞穂市を代表して本田小学校・大羽淳也教諭です。県教育者道德研究会長・子安一徳様、北方町教育長・西原朗様はじめ、岐阜市や大垣市からも多数ご参加。本田小学校長・伊藤清美先生、本巣小学校教頭・岩井隆史先生はじめ発表校から大勢の応援がありました。北方南保育園長・飯田美佐子様はじめ4保育園、町立幼稚園の皆様方のご参加も嬉しいことでした。ご多用の中、合わせて36名の方が参加してくださいました。

10時30分広井直美副会長(北方西小)の司会で始まりました。まず、参加者全員で自己紹介をしました。次に会長あいさつです。「ご参加の皆様へまずお礼申し上げます。次に、本巣教道研立ち上げに尽力された故所 重信様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。さて、2月4日文科省より道德教育に関する発表がありました。参考資料として、5日付け地元紙の記事を集めて「資料」を付けました。今回の改定には賛否両論あるかと思いますが、学校現場や社会全体の関心が今後高まっていくことは間違いありません。この機会を、臆することなく、道德教育を通して子どもを育てたいと真摯な実践をされてきた先生方が一層輝いて欲しいと思います。今日発表していただくお二人の先生方はその代表です。道德教育の充実を期待して、その実践に互いに学び合いたいと思います。」

平成26年度 実践研究会

子どもたちの笑顔のために、担任として取り組んでいること

発表者:本巣市立本巣小学校 清水 則文 教諭

「私は、子どもたちの心を育てる道德教育には『子どもたちの笑顔』がなくてはならないと確信しています。」清水先生の力強い言葉で始まりました。そのためにと、日々実践していることを18項目挙げ、順次話されました。

教師生活19年間で培った貴重な行動規範ともいえる実践哲学でありました。



- ①教室で迎える
- ②誕生日を祝う
- ③「どうぞ!」
- ④共に遊ぶ
- ⑤「ごめん、大丈夫?」
- ⑥前向きな言葉かけ
- ⑦ごみや落し物はすぐ拾う
- ⑧持ち物には記名
- ⑨廊下や階段ですれ違う時に
- ⑩言葉遣い
- ⑪ありがとう
- ⑫給食の配膳
- ⑬温かみの感じられる掲示物
- ⑭はがれた掲示物はすぐ直す
- ⑮連絡帳に一言
- ⑯体育の服装
- ⑰職員室に出入りする児童に対して
- ⑱弱い者のために

温かい学級の雰囲気醸成することは、いじめをなくすためにも必要なことです。特に「力の強い者は弱い者のため…」共感しました。根尾小学校志甫教頭(副会長)が「道德の授業を参観して、どうしてこの学級の子が生き生きしているのかと感心させられたのですが、その背景がよく分かる内容でした。」と感想を述べられました。

よりよい生き方を見つけ出す道徳教育

発表者：瑞穂市立本田小学校 大羽 淳也 教諭

今回大羽先生の掲げたサブ・テーマは、**～児童の実態を大切に、道徳の時間の在り方～**です。全国小学校道徳研究会の授業者として、昨年11月13日実践された内容を、分析的に話されました。

大羽先生は、道徳の時間（以下授業）で「学んでよかった。」「今までと考えが変わった。」と子どもたちを感じさせるものをめざしています。今回の改定論議でも「読むだけ」や「結論ありの話合い」の画一した授業は、大きな課題として挙げられました。そうではない、「魅力的な授業」であるための実践事例を示してくださる内容でした。

事前アンケートや日常観察を基に、道徳的価値・児童の意識と要因・資料の分析等をした「主題構成表」作成の手順が示されました。特に、6つの視点から児童の意識と要因を分析する試みが新鮮でした。

資料『小川笙船』は、江戸時代の医者で、民間医療と後継者育成に功績のあった笙船の生き方から「役割、責任」を話し合います。

「笙船だけでは、たくさん患者が増えていて一人ではできない。若い医者の悩みを解決して、笙船みたいな医者を増やしたいとがんばっていたと思う。」と発言したA子は、「美化委員会ならではのこだわりでピカピカな学校をめざしたい。」と自己を見つめることができました。

岐阜市の福井一芳氏からは「都合で見ることのできなかつた授業の様子が目で見たように分かった。これからも現場の先生方のリーダーとして活躍して欲しい。」と、期待の感想が述べられました。

県の子安一徳会長は、お二人の発表が道徳教育における働き（生き方と授業）を代表する価値のある内容であったと褒められました。



（会場の様子）質の高い実践発表を熱心に聴き入る参加者の皆さん

林明夫顧問から指導助言をいただきました。懇切丁寧に評価された上で、今回も至言をいただきました。

吉田松陰の言葉に「**人々貴き物の己れに存在するを認めんことを要す**」というのがあります。人は体験を通し、自分の中に大切なものを学んでいるから、それを見出し尊いものと認めて生きていきましょうと解されます。道徳教育の根幹で、自尊心や存在感が生きる力につながります。ご指導の林顧問



最後に、神谷肇副会長から結びのあいさつがあり、8月に行われる県教育者研究会岐阜地区大会地元開催の紹介がありました。

また、散会后、10名での楽しい昼食会ができました。

これにて、平成26年度の行事も無事終了となりました。

平成27年8月11日(火)は岐阜もとす大会です！

時間：受付12時30分～ 開始13時～16時50分

場所：岐阜モラロジー事務所（本巣市石神274-3）

講師：文部科学省教科調査官 赤堀博行氏、栗本貞子氏

実践発表は、瑞穂市立本田小学校から（発表者未定）